

# センター行事メモ

## ●表彰関係

### ―所外―

- 賞の種類 ・ 第1回 日本放射化学会賞 奨励賞  
 受賞件名 ・ 新アクチノイド核種の発見と中性子不足アクチノイド核種の壊変特性に関する研究  
 受賞日 ・ 平成12年9月13日  
 受賞者 ・ 超アクチノイド元素核化学研究グループ 塚田 和明

## ●外国人研究者招聘

年月日	招聘者	招聘目的
12.10.16~11.11	イギリス ロンドン大学 Prof. Keith A. McEwen	先端基礎研究国際シンポジウム及び先端中性子源国際会議での講演,議論
12.10.26~10.30	フランス ラウエ・ランジュバン研究所 Dr. Peter Timmins	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.26~10.30	スイス スイス連邦技術研究所 Prof. Kurt Wüthrich	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.26~10.31	フランス ラウエ・ランジュバン研究所 Dr. Victor Trevor Forsyth	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.26~10.31	ドイツ ヨーロッパ分子生物学研究所 Dr. Dean A. A. Myles	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.26~11.3	フランス ラウエ・ランジュバン研究所 Dr. Roland Peter May	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.27~10.30	アメリカ バンダービルト大学 Prof. Martin Egli	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.27~10.30	アメリカ エール大学 Prof. Jennifer A. Doudna	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演

●外国人研究者招聘

年 月 日	招 聘 者	招 聘 目 的
12.10.27~10.30	アメリカ ウィスコンシン・マディソン大学 Prof. John Lute Markly	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.27~10.31	フランス ルイパスツール大学 Prof. Eric Westhof	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.27~11.3	ドイツ ハイデルベルグ大学 Prof. Jeremy Christopher Smith	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.27~11.5	ドイツ ミュンヘン工科大学 Prof. Fritz G. Parak	第2回開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12.10.29~11.3	イギリス サルフォード大学 Prof. Peter John Webster	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.29~11.3	アメリカ ブルックヘブン国立研究所 Dr. Gen Shirane	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.29~11.4	ドイツ ミュンヘン大学 Prof. Winfried Petry	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.30~11.1	フランス CEA - Grenoble Dr. Jacques Flouquet	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.30~11.2	カナダ トロント大学 Dr. Robert J. Birgeneau	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.30~11.3	フランス ラウエ・ランジュバン研究所 Dr. Francis J.E.TASSET	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.30~11.3	フランス ラウエ・ランジュバン研究所 Dr. Bernhard Frick	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演

●外国人研究者招聘

年 月 日	招 聘 者	招 聘 目 的
12.10.30～11. 3	フランス CEA - Grenoble Dr. Nicholas Bernhoeft	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.30～11. 3	フランス CEA - Grenoble Dr. Louis - Pierre Regnault	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.30～11. 3	アメリカ NIST Dr. Charles C. Han	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.10.30～11. 3	ドイツ Ruhr - Universitte Bochum Prof. Hartmut Zabel	先端基礎研究国際シンポジウムでの講演
12.11. 1～11.30	ベトナム Institute for Nuclear Science and Technique Dr. Khoa Tien Dao	変形核の融合による重元素合成の研究
12.11. 1～ 14.11. 5	ポルトガル 原子核科学研究所 Dr. WEI Peng	ビーム蒸着法によるダイヤモンド合成の研究
12.11. 8～11. 9	ロシア ドゥブナ合同原子核研究所 フレーロフ核反応研究所 Prof. Yuri Oganessian	重元素核化学の現状等についての講演, 討論
12.11.15	アメリカ ロスアラモス研究所 Dr. Joe D. Thompson	ウラン化合物に関する磁性と超伝導に関する討論及び講演
13. 1.18～1.25	アメリカ オークリッジ国立研究所 Dr. Bryan Chakoumakos	中性子回折実験, 解析及び議論
13. 1.18～1.25	アメリカ オークリッジ国立研究所 Dr. Claudia J. Rawn	中性子回折実験, 解析及び議論
13. 2.13～2.16	カナダ ブリティッシュ・コロンビア大学 Prof. Donald G. Fleming	超流動ヘリウム中での化学反応についての講演, 討論

●外国人研究者招聘

年月日	招聘者	招聘目的
13. 2. 15～ 3. 16	中国 原子能科学研究所 Prof. Li Zhuxia	中性子および陽子過剰物質の状態方程式の研究
13. 2. 22～ 2. 26	ドイツ Federal Institute for Materials Research and Testing Dr. Wolfgang Kautek	シンポジウム「ナノ工学応用に向けたレーザーと有機物質の相互作用」での講演
13. 3. 1～ 3. 31	フランス CEA - Grenoble Dr. Jacques Flouquet	ウラン化合物の磁性と超伝導の高圧下の実験研究
13. 3. 4～ 3. 10	ドイツ ベルリン自由大学 Prof. Thomas Steiner	中性子構造生物学成果に関する講演, 討論
13. 3. 11～ 3. 17	アメリカ 南カリフォルニア大学 Prof. Bau Robert	中性子構造生物学成果に関する講演, 討論
13. 3. 12～ 3. 24	アメリカ ブルックヘブン国立研究所 Prof. Wim T. Klooster	中性子構造生物学成果に関する講演, 討論
13. 3. 16～ 3. 28	チェコ チェコ科学アカデミー原子核物理学研究所 Dr. Pavol Mikula	日本・チェコ研究協定の締結及び湾曲シリコンメータに関する意見交換, 討議
13. 3. 18～ 6. 5	ベラルーシ Radiation Physics and Chemistry Problems Institute Academy of Science of Belarus Prof. Efrem Soukhovitski	Soft-rotator modelによる重核の集団準位構造および光学ポテンシャルの研究
13. 3. 21～ 3. 23	ドイツ ヨーロッパ分子生物学研究所 Dr. Dmitri Svergun	タンパク質の水和構造の解析に関する集中講義
13. 3. 26～ 6. 23	ドイツ ユーリッヒ研究所 Dr. Peter Kleinheinz	二重閉殻近傍の核構造研究の討議

●基礎科学セミナー

回	年月日	講演者	開催テーマ
194	12. 7. 11	Seung-Hun Lee (NIST)	Frustrated Magnetism in Insulating and Metallic Spinel Antiferromagnets
195	12. 9. 26	A. J. Francis (Brookhaven National Laboratory)	Microbial Transformation of Actinides
196	12.10.30	赤石 義紀 (高エネルギー加速器研究機構)	Coherent $\Lambda$ - $\Sigma$ Coupling in Hypernuclei
197	12.11.21	S. Raymond (CEA-Grenoble)	Inelastic neutron scattering near a quantum critical point in heavy fermion compounds.
198	12.11. 9	Yu. Ts. Oganessian (Flerov Laboratory of Nuclear Reactions)	The Synthesis and Decay Properties of the Heaviest Elements
199	12.11.14	P. J. Karol (Carnegie Mellon University)	Pre-History of the Discovery of Radioactivity
200	12.11.29	松崎 昌之 (福岡教育大学)	クォーク物質におけるカラー超伝導
201	12.12.19	西田 信彦 (東京工業大学)	超低温走査トンネル分光顕微鏡法による超伝導体の研究
202	12.12.13	P. J. Karol (Carnegie Mellon University)	Anomalous Projectile Fragments (Anomalons) : Their Growth and Decay
203	13. 1. 29	巽 敏隆 他 (京都大学)	第3回「極限条件におけるハドロン科学」研究会
204	13. 1. 25	中原 弘道 (東京都立大学)	核的手法を用いる元素分析の最近の進展
205	13. 2. 22	工藤 久昭 他 (新潟大学)	第2回重元素核科学ワークショップ —超アクチノイド元素化学研究の進展—
206	13. 3. 1	M. Schaedel (Gesellschaft fuer Schwerionenforschung)	Current Developments in Superheavy Element Chemistry
207	13. 2. 13	Donald G. Fleming (University of British Columbia)	Muonium-a Unique Probe of Quantum Mass Effects in Chemical Reactivity
208	13. 3. 6	椎名 亮輔 (東京都立大学理学部)	f 電子系における多重極モーメントの秩序と揺らぎ
209	13. 3. 2	江尻 宏泰 (大阪大学)	原子核で探るニュートリノの正体
210	13. 2. 28	Li Zhuxia (中国原子能科学研究院)	Kaon Production around Subthreshold Energies